

祝 ぎ降誕
Merry Christmas
Buon Natale
Frohe Weihnachten



「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。
人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。」
(ヨハネ福音書15章5節)

教皇ヨハネ・パウロ2世

「平和アピール」

(1981年 広島より)

戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命の破壊です。戦争は死です。…

過去をふり返ることは、将来に対する責任を担うことです。広島を考えることは、核戦争を拒否することです。広島を考えることは、平和に対しての責任をとることです。…

すべてをさしおいて、平和が追求され、平和が保持されねばなりません。過去の過ち、暴力と破壊とに満ちた過去の過ちを、繰り返してはなりません。険しく困難ではありますが、平和への道を歩もうではありませんか。その道こそが、人間の尊厳を尊厳たらしめるものであり、人間の運命を全うさせるものであります。平和への道のみが、平等、正義、隣人愛を遠くの夢ではなく、現実のものとする道なのです。

聖書のことば

「天のいと高き所には神に栄光
地には善意の人に平和あれ」

(ルカ福音書 2:14)



2月24日のロシアによるウクライナ侵攻。世界の人々を震撼させた今年の重大事件です。それから10か月になろうとしています。多くの皆様も、毎日心を痛めながら戦況の成り行きを見守って来たことでしょう。一日も早く平和が訪れることを祈りながら……。

父親を、夫を、息子を亡くした悲しみの中で迎えるクリスマス。家族が離れ離れになった寂しさの中で、遠く離れた愛する家族を想いながら過ごすクリスマス。ウクライナだけではなく一部のロシアでも、このような市民たちの哀しみ・苦しみが続いています。必要な叡智と決断を。

コロナ禍の中で迎える3度目のクリスマス。2020年のクリスマスは、日本中、あるいは世界中の教会で、ミサを公開で行うことを自粛していました。オンラインだけで行ったところが多かったと思います。2021年のクリスマスは、教会で人数制限のミサを行い、同時にオンラインで配信することも行うハイブリッド形式の教会が多かったようです。または、何度かに分けて分散ミサにしたところも多かったでしょう。

今年のクリスマスは、ある程度人数制限をしながらも、多くの人々が参加できるミサをする教会が多いと思われまます。少しずつ教会の正常なあり方に戻ってきているのは嬉しい限りです。やはり、そもそも教会というのは、イエス・キリストを信じる人々の集いです。

大学の中にもクリスマスらしい飾りがあちこちに見られます。この写真は、北16条キャンパスの聖マリア聖堂の中のプレゼピオです。13世紀初めにイタリアの聖者アシジの聖フランシスコが始めたイエスの降誕場の再現が、全世界に広まりました。

クリスマスの喜びと平安を！

教皇フランシスコ回勅 『ラウダート・シ』（2015年）の目標

教皇フランシスコが2015年5月に発表した『ラウダート・シ』とともに暮らす家を大切に』は、全世界に向けて「わたしたち皆がともに暮らす家」（つまり、地球）を大切にするという視点から、エコロジーの様々な課題に総合的に取り組むことが呼びかけられました。すべての被造物は互いにすべてが繋がっているがために、互いの調和のうちに生きていく道を探ることの重要性を教皇は強調し、この課題に取り組むように求めておられます。

1. 地球の叫びへの応答

気候危機、生物多様性の消失、エコロジカルな持続可能性のいずれにも対処しつつ、すべての人が人間らしく生きるために私たちが共に暮らす家を守る

2. 貧しい人々の叫びへの応答

人間のいのち（始めから終わりまで）と、地球上のあらゆる形態の命を守ること、エコロジカルな正義を推進すること

3. エコロジカルな経済

経済というものが人間社会のサブシステムであり、人間社会は生物圏の一部であり、その生物圏は私たちが共に暮らす家であることを認識

4. 持続可能なライフスタイルの採用

「足るを知る」という考えに基づいて、資源やエネルギーの節度ある使用を促進

5. エコロジカルな教育

エコロジカルな意識と変化をもたらす行動とを促進するために、インテグラルエコロジーの精神に基づいて、カリキュラム改革や制度改革を見直す

6. エコロジカルな霊性

霊的生活がこの世の諸現実から切り離せないことを自覚し、「すべてのものの中に（被造物の美しさにも、病者のため息や苦しむ人々の呻きにも）神を見出す」ことを促すエコロジカルな回心

7. 地域社会のレジリエンスとエンパワーメント

さまざまなレベルにおける参加型活動を通して、地域社会と共に歩むことを目指す



教皇フランシスコのTwitterより

Pope Francis_@Pontifex

This is a difficult time for humanity, but it is also a propitious time of salvation, in which the Lord, through the Virgin Mary, continues to give us His Son, who calls us to fraternity, to set aside selfishness, indifference and enmity, and to get involved with each other.



マリア院聖堂で ウクライナのための祈り

今年2月24日にロシアがウクライナに侵攻して間もなく、マリア院聖堂内の聖母像の横に、地球儀と、青と黄の布で作ったウクライナ国旗が置かれました。シスターたちは、それを見るたびにウクライナを想い、その平和と幸福な生活の回復のために祈っています。一日に何度でも、そして毎晩共同でも、戦争の終結を求めて聖母に取り次ぎを祈っています。

クリスマス・ミサへのお誘い

12月20日に両キャンパスのチャペルで、クリスマスのミサが行われます。今年もコロナ自粛で行われますが、どうぞご参加ください。

- ◇ 北16条キャンパス:
ミサ & オルガン・コンサート
ミサ 13:00 (約1時間)
コンサート ミサ後 (演奏は 大野敦子様)
- ◇ 花川キャンパス:
ミサ 11:00

マスク着用の上、どなたでも多数お越しください。

聖歌隊員の募集



本学では、聖マリア聖堂の完成を機に、2018年に聖歌隊を結成しました。学内の宗教行事に際して、美しい聖歌で花を添えていただきます。コロナ休みもそろそろ終わりたいです。

歌うことの好きな方、ハーモニーを楽しみたい方、宗教音楽に興味のある方など、多くのご参加を期待しています。(希望者は学生課まで)